

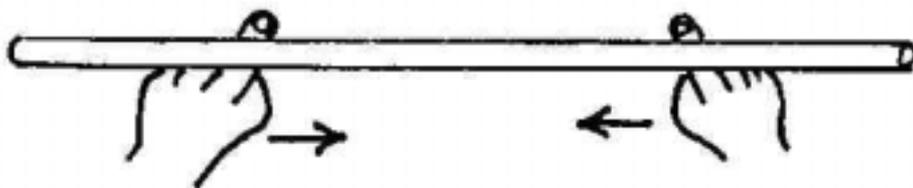
1 つりあいとは

「つりあい」ということばは、いろいろなときにつかわれます。
きょうは、おもさのつりあいについて考えていきます。

2 1本のぼうのつりあい

(1) 1本のぼうのどこをささえると、左右がつりあってたいらになるかしらべてみましょう。

(2) かんたんに見つけるほうほうがあります。



どうして、そのほうほうでつりあうばしょが見つかるのか考えてみましょう。

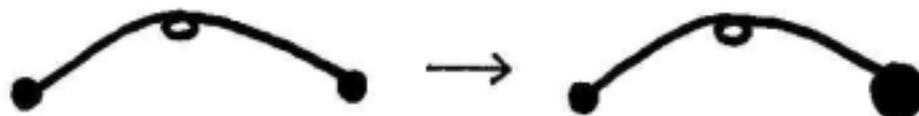
3 やじろべえ

(1) 1本のはりがねのまん中にわを作ります。両うでに同じ大きさのねんどの玉をつけましょう。これでやじろべえのできあがり！



(2) 両うでにいろいろなおもさのねんどをつけてみましょう。

ア 右がわをおもくすると、どちらにかたむくでしょう。下がる方に を書いてみましょう。

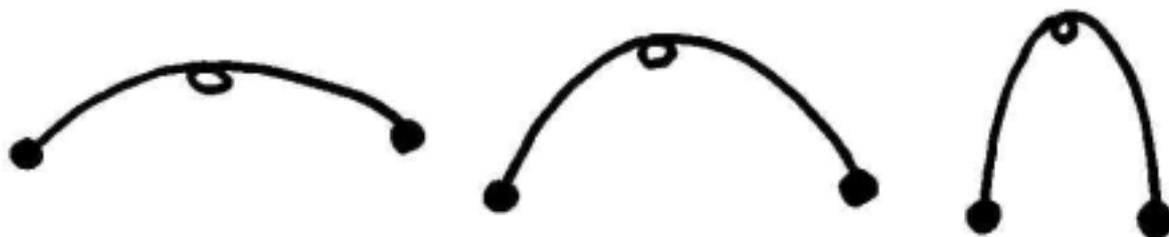


イ 同じおもさのねんどをつけたら，右がわのねんどをまん中にちかづけてみましょう。下がる方に を書いてみましょう。



(3) つりあっているやじろべえのうでのまげ方をかえて，うごき方をしらべてみましょう。

同じつくえのグループの人たちできょうりょくしてじっけんします。うでのまげ方がどのようなとき，うごき方がはやいでしょうか。はやいじゅんばんに1，2，3と書いてみましょう。



いつまでもうごきつづけるやじろべえを作ると時計が作れるかもしれません。

4 いろいろな形のやじろべえ

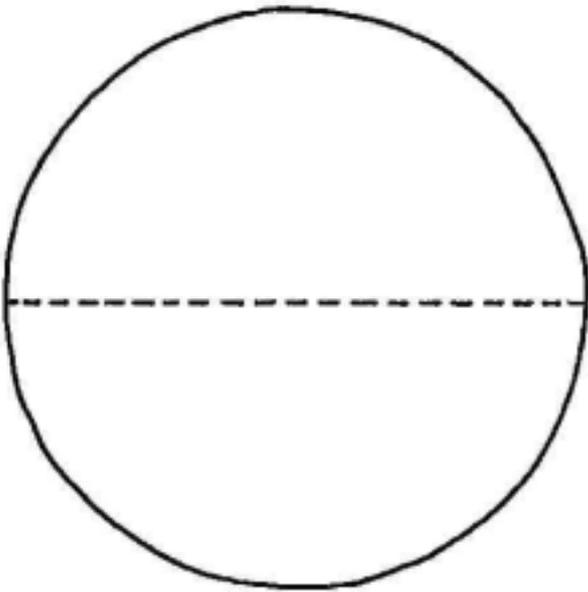
(1) やじろべえをつかったおもちゃを見てみましょう。

(2) はしをささえるやじろべえもあるでしょうか。

じぶんなりのたのしいやじろべえを作ってみましょう。

5 これもやじろべえのはたらき？

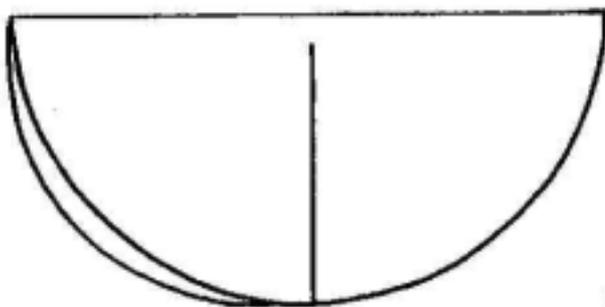
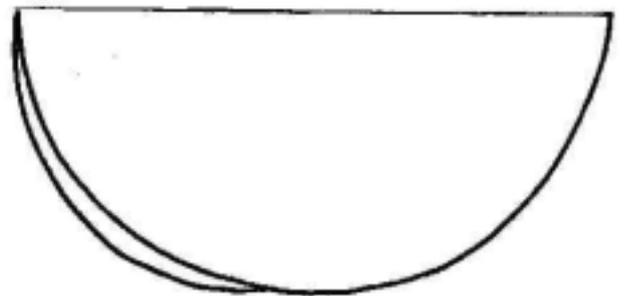
やじろべえのように左右にうごくはたらきをつかったおもちゃをつくってみましょう。



紙ざらを半分におります。
さらのものをのせる方を
うちがわにします。

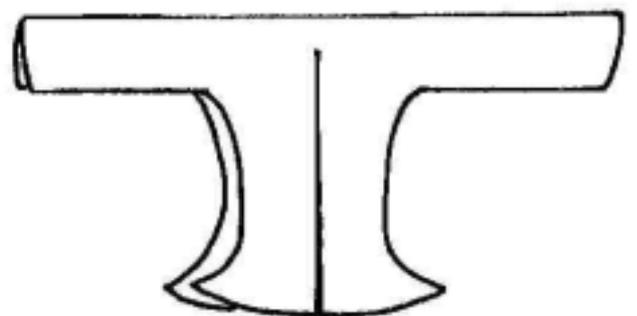


上、下の両方ともまん中
はさみで切れこみを入れます。



すきなかたちに
切ってみましょう。

これをさかみちにおいて
ちょっとゆらして
みましょう。



両足をうごかして歩く人形を作ってみましょう。